

事務事業名	真岡市教科別研究事業交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和57年度～）	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	1教育総務費	2事務局費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	各教科の指導法の研究改善を図っている。 真岡市教科別研究費として、国語科研究会、社会科研究会、音楽科研究会、道徳教育研究会、理科教育研究会、社会科副読本作成委員会の各々に対して、運営支援している。 交付金額国語科40,000円、社会科30,000円、音楽科52,400円、道徳教育4,000円、理科教育38,000円、社会科副読本作成30,000円、計194,400円						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 各教科研究会から事業計画書を提出させ、研究会活動支援のための交付金を交付している。 2年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 交付金額	円	194	194	194	194	194	
イ							
ウ							
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 各教科別研究会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 各教科別研究会数	回	6	6	6	6	6	
イ							
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 各教科の指導法研修会等を開催し、教員としての資質の向上を図る	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 各教科の研修会等へ参加し、教員としての資質の向上を図った教員数	人	108	108	108	108	108	
イ							
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 資質の向上を図り、各教科を充実させる	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 資質の向上を図り、各教科を充実させた教員の割合	%	100	100	100	100	100	
イ							
ウ							
エ							
オ							
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	194	194	194	194	
	事業費計(A)	千円	194	194	194	194	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	198	198	198	198	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	各教科の指導法の研究改善と、教員としての資質の向上を図るため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	